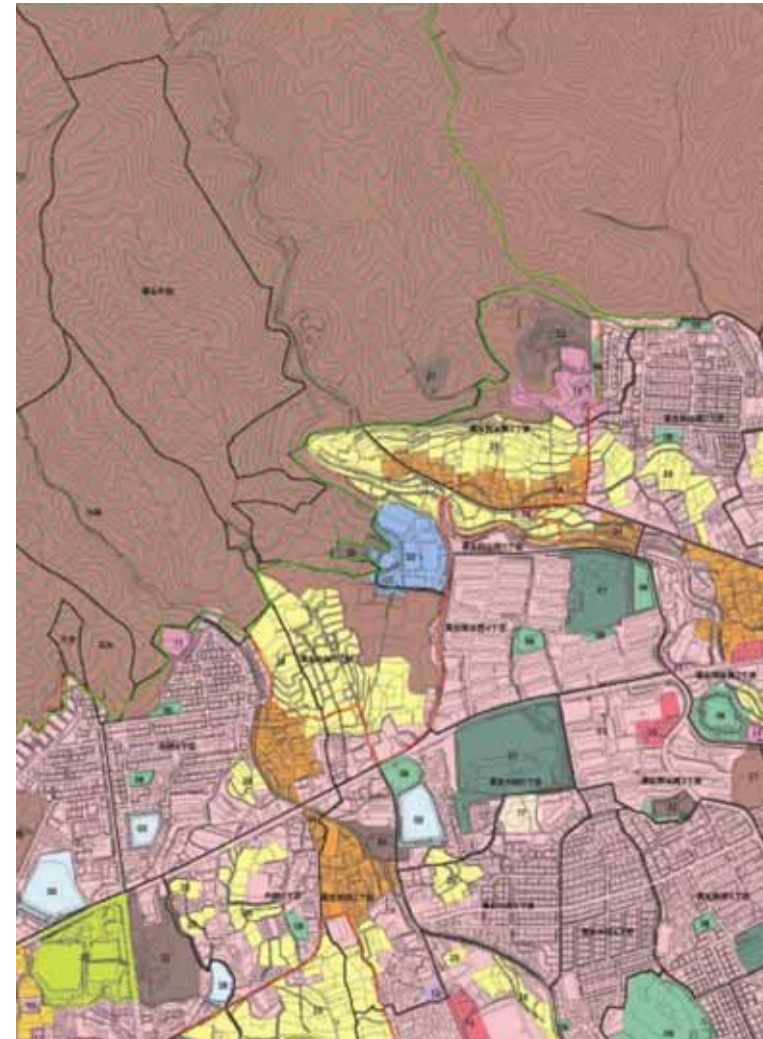


粟生地区（外院三丁目、粟生外院六丁目、粟生間谷西五・六丁目の一部）

地区の概要

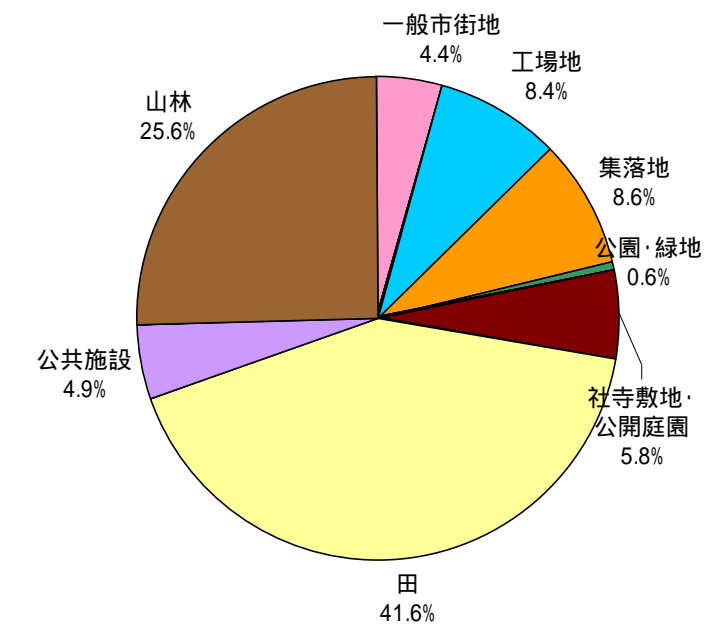
項目	概要
対象地区の概況	(位置・面積) ・市域東部、山麓部に接し、南部は山麓線（箕面池田線）と接する ・区域面積は約 33ha
	(平成 17 年度人口・世帯 丁目ベースで集計、対象地区人口と一致しない) ・700 人、296 世帯 ・0-14 歳 12.1%、65 歳以上 19.7%
上位計画での位置づけ	(第 4 次総計) ・東部地域の将来像として国際性をいかしたまちづくりなど ・中央山間地域（山麓部）の将来像として自然環境の保全など
	(都市 MP) ・市街化区域編入検討地区として位置づけ
	(みどりの基本計画) ・山麓部のみどりの保全、河川のみどりやまとまった農地・ため池などのみどりの保全
	(都市景観基本計画) ・山麓部は山なみ景観保全地区に指定 ・昔からの集落地区（粟生間谷西）/ 農地・ため池の残る地区として、水と緑の景観や落ち着いたまちなみの保全等を位置づけ
地形	・地区北部は勝尾寺川に沿った谷に古くから農業集落（奥集落）が形成されており、起伏に富んだ地形となっている ・地区南部は斜面地となっている ・山麓部に接しており、一部土石流氾濫想定区域となっている
なりたち	・地区北部は勝尾寺への参詣の玄関口として、昔から多数の人が行き交う道沿いに集落が形成され、独立した自治会組織によって村の行事が運営されている
自然	・勝尾寺川沿いは草木が生い茂り緑豊かであり、ホタルが飛び様子も見られる
農業	・一帯はかつて酒米やビワの栽培が盛んだった ・地区北部は谷の窪んだところや集落の後背地に農地が残り、稲作・畑作が営まれる ・地区南部は丘陵部に市民農園が集積している ・勝尾寺川と幾つかのため池から用水が引かれ、2つの水利組合が所管
景観	・勝尾寺川以北には農村集落が残る ・西国街道、新家の大鳥居から勝尾寺へと表参道が貫通しており、沿道には道標・町石が点在、またこの辺りには善福寺原城があったという記録も残されている
土地利用	・田（13.7ha/41.6%） 山林（8.4ha/25.6%） 集落地（2.8ha/8.6%） 工場地（2.8ha/8.4%） ・田・山林が中心で、集落地の他に工場が立地
開発動向	(地区内) ・茨木能勢線沿いに比較的規模の大きい資材置き場が立地 ・地区南部は山麓線と接続しており、交通量も多いことから開発圧力も高く、沿道での住宅・店舗の立地が見られる
	(地区外) ・地区南東部は中層住宅地（UR 粟生第 2 住宅）が近接、周辺は粟生間谷・青松園など、計画的に開発された戸建て住宅地が主である
基盤整備の状況	・茨木能勢線は山間部へとつながっており、資材を運搬するトラックなどの通過交通が多い ・山麓線は交通量が非常に多く、朝夕は混雑する ・彩都までをつなぐ国文都市 4 号線が計画されている ・市内唯一の大規模工場（双葉産業）が立地 ・地区北部にはガラシア病院及び付属施設が立地
地区まちづくりの経緯	・国際文化公園都市（国文都市 4 号線）に関連して面整備の検討が行われた経緯がある ・平成 13 年には面整備（区画整理）事業の立ち上げに向けて地元で意向の取りまとめが行われたが、同意が得られなかった ・区域設定などを変えて再度検討されている

(土地利用現況-H18 年度)



区分	用途	色	色番	仕 様
市街地	一般市街地	赤	13	区域区分なし
	商業集積地	赤	15	〃
	官 公 署	紫	12	〃
	工場地	青	23	〃
農 業 地	農地	黄	24	〃
	山林・緑地	緑	26	〃
	運動場・遊樂地	黄	20	〃
	公園・緑地	黄	20	〃
交通用地	駅前広場	黄	21	〃
	社会施設・公園用地	黄	22	〃
	道 路	黄	24	〃
	道 路	黄	26	〃
山 林	山林	黄	26	〃
	公園・緑地	黄	20	〃
	水 道	黄	20	〃
	低 層 地・高 層 地	黄	21	〃
山 間 部	山間部	黄	21	〃
	道 路・鉄 道 沿 道	黄	20	〃
	その他	黄	21	〃
	その他	黄	21	〃

山なみ景観保全地区



注：都市計画基礎調査のデータによるが、実際の土地利用の現状とはずれがある

